

7章 性能試験

7.1 基本性能試験

基本性能試験では、次に示す検査がこの手順の通りに実施されなければならない。

- (1) 模擬供試体を使用した予備情報なしの検査
- (2) 健全供試体を使用したキャリブレーション
- (3) 模擬供試体を使用した予備情報ありの検査

(1)非破壊検査技術の検査対象とするあと施工アンカーの不具合について、予備情報（あと施工アンカーの標準施工図、健全なあと施工アンカーの計測結果）がない状態で検査が行われる必要がある。

(2)予備情報を必要とする非破壊検査技術で、健全なあと施工アンカーの計測結果を必要とする非破壊検査技術のみ健全供試体の検査が実施される必要がある。

(3)非破壊検査技術の検査対象とするあと施工アンカーの不具合について、予備情報（あと施工アンカーの標準施工図と健全なあと施工アンカーの計測結果のどちらか一方、またはその両方）が与えられた状態で検査が行われる必要がある。なお、検査は模擬供試体を使用した予備情報なしの検査とは別のあと施工アンカーで実施される必要がある。

7.2 適用性能試験

適用性能試験では、次に示す検査がこの手順の通りに実施されなければならない。

- (1) 実部材供試体を使用した検査
- (2) 軸力を導入したあと施工アンカーを使用した検査

(1)実部材供試体は、コンクリートの変状等が生じている撤去部材にあと施工アンカーを施工したものであるため、コンクリート表面の劣化やひび割れが生じている。検査を行うときは、これらの変状に影響を与えないように（コンクリートの剥離や欠けを生じさせないように）注意して検査が行われる必要がある。

(2)締め付けトルクによって軸力を導入したあと施工アンカーは、適切に締め付けトルクが管理されているため、ボルトを回転させるなどの締め付けトルクに影響を与えることがないように注意して検査が行われる必要がある。